

## はじめに

「かかりつけ歯科医」として地域での保健・医療・福祉領域で活躍できることが、これからの歯科医師・歯科衛生士に特に求められています。そのため関係する法規を含めて保健・医療・福祉領域の全体的な仕組みや方向性について十分な知識を修得することが歯科医師や歯科衛生士の資格の必要な条件になっており、それぞれの国家試験におけるこの領域の出題が50問前後とかなりの割合となっています。

しかしながら、歯科医師や歯科衛生士の養成機関での講義・実習は医学・歯学の基礎科目や臨床系の教科が主体であり、本書でまとめている領域は、学生さんにあまり興味がわかない領域です。また、法律の改定などがあり、国家試験前に2～3年前に学習した内容をもう一度見直す必要があり、多くの学生さんにとって苦手な科目となっています。最近出題される範囲も広く、正解を導くためには関係する法律に戻らないと解答できない問題も多くみられるようになり、学生さん自身で内容を新しく整理した国試対策用ノートを作成する必要があります。

そこで、教科書をまとめた形ではなく、国試でよく出題される重要部分を最新の情報を基に「まとめテーブル」として覚えやすい形とし、解説が必要な箇所は文章や図を加えています。本書は、教科書ではなく、一度系統的な講義・実習で学んだ学生さんが国試前にその知識の獲得と確認をするためのものです。“本書の使用方法”をご覧ください、「まとめテーブル」を活用して、限られた時間でこの領域の知識をしっかり身につけて1問でも多く正答されることを望んでいます。とくに、本書を購入された方には過去数年間の国試問題をスマートフォンで演習できるようにしています。解説や本書の対応ページも示されています。是非活用してください。

2027年版は、最近の国家試験の出題の傾向から高齢者の保健の領域に対応した内容、特に口腔機能低下症に関連する項目の充実と英文略語についての一覧表を本書の最後にまとめました。

本書の作成に対して、養成機関で実際に学生さんの教育に携わっている佐藤涼一講師、竹之内茜先生、大谷悦世講師に共著者として参加していただきました。

最後に本書の企画、校正、出版に尽力をいただいた、一世出版の原田育叔社長、編集部の三嶋 彰、磯野由香利の各氏に厚く御礼申し上げます。

令和8（2026）年6月  
松久保 隆

# 本書の使用方法

- 1 初めに「**まとめテーブル**」で「**必修**」、「**よく出る**」、「**注意**」などのマークが記載されているのでどれが重要か、よく出題される項目なのかを確認して学習してください。



今までによく出題されていて、これを知らなければだめでしょうというところ



いままでよく出題されているところ

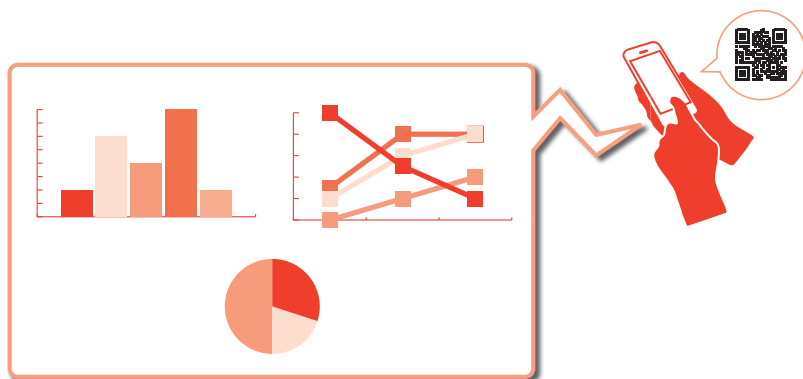


今までに出題されていて間違えやすいところ

- 2 各項目に対応した過去5年間に国家試験に出題された問題を web ページとしてまとめました。自身の知識の確認に使用してください。



- 3 本書に記載するには大きいデータやカラー写真などは本文中のQRコードから確認できるようになっています。



- 4 本書は学生の国試対策用ですが、養成機関の教員がこの領域の問題を作成する際にも利用可能です。是非活用してください。

